

田上早百合プロフィール

富山県東部にある入善町(写真)で生まれる。
大学の学部を東京で過ごした後、奈良市在住。

書

6歳から書を始め、創玄書道会に属したが、奈良に来てからは、書壇を離れる。

1993年、奈良学園中学校(書写)高等学校(芸術科書道)非常勤講師、奈良女子大学書道部講師。

社会的な活動として、高校生・大学生を対象とした公募展「大仏書道大会」の企画運営に携わる。今秋、十回展(主催：NPO法人「奈良二十一世紀フォーラム」会場：東大寺大仏殿西回廊)

5年前から、書の同人「墨翔」に、その仲間として参加。毎年5月、奈良県文化会館にて、グループ展を開催。

陶芸

下の子供が高校生になった2005年、再開。

2006年、アート系のNPO法人「アーツ・プラネット・プラン・フローム・イガ」会員となり、活動の一環として、間伐材(赤松)の薪割りから始める「穴窯焼成」をこれまで9回実施。書作の脇に野の花を飾る花入れを中心に制作。

台所横の土間「野の百合工房」では、水滴・磁硯・印盒などの「文房具」、及び「磁印」を制作。近年は、お茶道具にも挑戦中。

漆

穴窯は焼成中、窯の中で作品が割れることがあるため、「金継ぎ・漆繕い」を始めた。また、刻字の余白には「拭き漆」をする。指導は、蒔絵師の杉村聡先生。

